

令和8年度

学島小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業展開の工夫
- ②ICTを効果的に活用した授業展開の工夫
- ③自主的に取り組もうとする「家庭学習」の習慣化

校長

片山 富造

学力向上推進員

山下 佳名

【各校の取組状況の把握について】

- 研修によるフィードバックや現状の共有・話し合い
- 管理職による授業参観
- 具体的目標の達成指標の振り返り

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能は概ね身に付いている児童は多い。 ●読書や日常生活の経験差から、語彙力が低く、文章を読み取る力や書く力が弱い児童がいる。	・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付け、既習の学習や他教科と関連付けて考え、読解力を高めることができる。 ・目的や目標をもって年間50冊以上読み、さまざまなジャンルの読書に親しみ、言語感覚を豊かにすることができる。	・漢字や計算を継続的に指導し、学年に応じて小テストを定期的実施する。 ・児童に身に付けさせたい力(ゴール)を明確に授業づくりを行う。 ・朝読書タイムや家庭読書の日を設定し読書に親しめるようにするとともに、読み聞かせや阿波っ子タイムズ等に親しませる機会を設ける。 ・図書カードを活用して読んだ本の数やタイトルを可視化し意欲向上を図る。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○根拠や理由を明確にしなが、自分の考えを発表しようとする児童は多い。 ●互いの意見を整理したり、比べたりして課題解決をするような深い対話が難しい児童がいる。	・文章や表、グラフなどから自分で情報を読み取り、比べて整理したり考えを深めたりすることができる。 ・課題解決に向けて根拠や理由を明確にしなが、自分の意見を表現し、対話を深めることができる。	・分かったことや考えたことを思考ツールを活用してまとめ、設定した条件をもとに文章を書いたり、発言したりする機会を増やし、対話的で学び合う授業づくりを行う。 ・1分間スピーチ等を継続的に実施し、児童が表現する力を高められるようにする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業中の課題や宿題など、与えられた課題に対してまじめに取り組むことのできる児童が多い。 ●自分の学習課題を把握し、計画的・効果的に家庭学習に取り組むことには課題がある。	・自分の学習状況や興味関心に応じた課題を見つけ、計画的に学習することができる。 ・進んで授業に臨む姿勢や学習規律を身に付け、正しい言葉遣いで学び合うことができる。	・学年に応じて自主学習ノートの例を示し、自主学習の宿題を継続的に実施する。よりよい自主学習になるようにノート指導を行う。 ・学習用具・整理整頓・基本的な学習への姿勢を整える。 ・出前授業を積極的に活用し、児童が興味関心を持って学習できるような環境づくりを行う。			